

## ◆◆「新しい川崎」メール版◆◆

－2024年10月1日第144号－

### <目次>

#### ●いよいよ学校給食費は値上げですか？

#### ■公園の木はなぜきられるのか ～等々力緑地再編整備を考えるつどい報告～

#### ▲お知らせコーナー

- ① 10/4 台風19号多摩川水害5周年フォーラム
- ② 10/12 あれから5年、多摩川危険箇所の早急な改善を！住民大会
- ③ 10/13 映画「決断」上映+原発事故被災者の講演
- ④ 10/19 これからの市民館、図書館について 語り合いませんか？
- ⑤ 10/27 ゆめシネマ「〇月〇日、区長になる女」
- ⑥ 11/4 子ども未来集会プレ企画・映画「ゆめパの時間」
- ⑦ 11/29 から京浜協同劇団公演「黒と白のピエタ」

#### ★編集後記

#### ●いよいよ学校給食費は値上げですか？

タウンニュース9月27日号は、トップ記事の見出しに「川崎市学校給食費 値上げの方針／物価高騰受け 来年度めど」と表示し、読者に驚きを与えました。この記事は以下の文から始まっています。

「川崎市は、学校給食費を2025年度から値上げする方針を示している。値上げした場合は、1食あたり小学校で50円、中学校で60円程度を見込む。」

これでは、まるで保護者が支払っている給食費を値上げするような印象が強く残るでしょう。

しかし、正確には、保護者負担が増えるとは記事のどこにも書いてはいません。

川崎市が示しているのは物価高騰への対応として、今までの給食の質を維持するために、1食当たりの給食の金額を「改定」ということです。

では、その改定で値上がりした差額分は、だれが、負担するのでしょうか。

#### <市教委は10月11日まで保護者を対象に「給食に関するアンケート」を実施>

質問は全部で5問。

質問1―「本市の給食の内容について どう思いますか。」

質問2—「給食に求めることはなんですか。

質問3—「給食について、よいと思うことはなんですか。」

質問4—「給食について、改善してほしいことはなんですか。

そして、最後の質問5では「本市の給食では、子どもたちが様々な食材に慣れることができるように、多様な食材(1食平均15品目以上)を提供したいと考えています。

しかし、物価高騰により現状の給食費では使用できる食材が限られてきています。

「このことについて、どう思いますか。」を問い、以下の4択を選ばせています。

- ① 給食費が高くなっても、多様な食材を使ってほしい
- ② 給食費が高くなるなら、そんなに多様な食材を使わなくてもいい
- ③ 特に意見はない
- ④ その他

#### <値上げ分の負担はだれがするのか?>

物価高騰の波の中で、現在の1食当たり小学校270円、中学校320円のままでは美味しくて安全安心な給食の提供はできません。

ですから、1食当たりの給食費を、小学校50円、中学校60円値上げに改定することは当然でしょう。

多くの保護者は、子どもたちに、美味しくて、栄養バランスがあり、安全な給食を望んで、①に回答をするでしょう。

では、その値上げ分の負担はだれがするのでしょうか。

この肝心な質問がないのです。尻切れトンボです。

そこで、①を選んだ保護者は、「自分たちが値上げ分を負担することもしかたがないか…」と自分を納得させるかもしれません。

このアンケートの隠されたねらいがそこにあるのかと疑ってしまいます。

本来なら、給食費値上げ分の差額をどうやって負担するか肝心な解決策を、以下のように問うべきなのです。質問を付け足してみましょう。

#### <質問6 3択:給食費を値上げした場合、その差額分はどうすればいいですか、>

- ① いままでのように、差額分の食材費も保護者が負担する。
- ② 保護者負担は変えずに、2024年度のように差額分は市費から負担する。
- ③ 全国3割の自治体のように、給食費全額を無償とし、市費や国の補助金で負担する。

さて、あなたが保護者なら、どれを選択しますか？

川崎市は、現在全国自治体が実施している給食費負担の選択肢を正しく、保護者に情報提供すべきなのです。

ちなみに、最初に紹介したタウンニュース記事は、次の文で終わっています。

「今年度、政令市ではさいたま市と神戸市が小学校の給食費を改定。差額分は市が負担している。」(H)

## ■公園の木はなぜきられるのか ～等々力緑地再編整備を考えるつどい報告～

川崎民主市政をつくる中原区の会は、9月23日(月休)に、川崎市民、、中原区民にとって「緑の憩いの場」である等々力緑地を乱開発から守ろうと「学習と調査のつどい」を開催、64名が参加しました。

等々力緑地再編整備事業は、2022年11月に約600億円で事業者の選定が決まり、2023年4月に、東急、富士通、オリックス、フロンターレ、大成建設、フジタ、など大企業が共同出資する「川崎とどろきパーク株式会社」が発足しました。

川崎市は、この企業体に、公園全体の管理運営を30年間も任せます。

等々力緑地再編整備は、市民の予想をはるかに超えた緑地大改造計画であり、市民の憩いの場から大企業が設ける場に変質させられることが次第に明らかになってきました。

そして、計画を知った市民が危機感を強め、この夏に、「等々力緑地を守る会」を結成し、今回のつどいでは、学習会での現地報告と調査活動のガイド役を引き受けてくれました。

### <800本の樹木が切られてしまう～等々力緑地を守る会の調査報告から>

「川崎とどろきパーク株式会社」は、大規模な建設計画(球技専用スタジアム、等々力アリーナ、陸上競技場など)とは別に、「自由提案施設」を18ヵ所も作る計画になっています。

飲食・物販などの施設や温浴施設などを、事業者の責任で、自由に民間資本を参入させる計画です。

川崎市の関与はできなくなります。

これと新設される2カ所の立体駐車場を合わせると、3万平方メートルになり、そこに現在ある樹木のほとんどは伐採されます。

また、芝生広場や周回ランニングコースの建設でさらに現在ある樹木が伐採されます。

等々力緑地を守る会は、再編整備図に基づき、伐採が予想される樹木の種類、本数、高さ、幹の太さ等を1本1本調査して判明した驚くべき環境破壊の結果を報告しました。

高さ2m以上で約50種類に及ぶ多種多様な樹木800本が伐採されてしまうのです。

整備後に残る樹木は、約470本で、緑地の周辺道路沿いにわずかに残されます。

緑地内はほとんどの樹木が伐採されてしまいます。

### <緑を削り、環境を破壊する公園PFI方式～尾林講演を聞いて～>

民間事業者は、利益を追求します。

そのためには、経費を減らし、収益を増やそうとします。

樹木の生育を管理し剪定をする経費をなくすには、樹木の根元から伐採してしまえばいいのです。

収益を増やすためには、人が集まるカフェや店舗を増やすことになります。

人を呼び込むためには、大規模な駐車場をつくり、ここからも収益が生まれます。

そこにあった樹木は当然、伐採されてしまうのです。

自治体が、住民の良好な生活環境や防災拠点としての緑豊かな緑地や公園を守ろうとせず、目先の経費削減や民間事業者への収益の場の提供を政策とする傾向がいよいよ強まっています。

しかし30年間も民間に任せれば、30年後に「現状復帰」など、だれが確認できるでしょう。

公園PFIは、緑地こわしであり、市民の憩いの場こわしなのです。

### <市民パワーで、国と川崎市の「PFI優遇政策」の転換を！>

等々力緑地を守る会は、現地調査での告発、署名、オンライン署名、記者会見など多彩な運動を開始しています。

今、川崎市内でも、また全国でも、公園の樹木の伐採に対して、住民運動が起きています。

身近な環境を守る運動とともに、視野を広げて、川崎市の「PFI 優遇政策」の実態を明らかにし、政策の転換を求めていくことが大事だと痛感しています。(H)

尾山弁護士著書

[「公園の木は何故切られるのか」](#)

## ★お知らせコーナー

### ①台風 19 号多摩川水害 5 周年フォーラム

10/4(金)18:30 開始

川崎市総合自治会館ホール

[詳しくはこちら](#)

[公式サイト](#)

### ②あれから 5 年、多摩川危険箇所の早急な改善を！住民大会

10/12(土)14:00 から

幸区みはらし公園

連絡先 坂内(080-5653-6196) 中山(080-5092-5456)

[詳しくはこちら](#)

### ③映画「決断」上映会+原発事故被災者の講演

講演:森松明希子さん(原発賠償関西訴訟原告団代表)

10/13(日)9:15 映画上映(90 分)終了後講演

入場料:無料

予約不要

主催:原発ゼロへのカウントダウンイン川崎

[公式サイト](#)

### ④これからの市民館、図書館について 語り合いませんか？

＝行政に市民の声を届けよう＝

10/19(土) 14:00～16:00

エポックなかはら 7 階 第 3 会議室

指定管理者の選定結果について報告

こんな市民館にしてほしい、図書館はこんなサービスもしてほしい、  
市民館、図書館の将来のこと、市民も一緒に考えたい・・・

資料代:500円

主催:川崎の文化と図書館を発展させる会 共催:社会教育を考える川崎の会

申込・問合せ:岡本(090—6153—9566)

[詳しくはこちら](#)

#### ⑤ゆめシネマ「〇月〇日、区長になる女」

10/27

① 9時

② 12時

③ 15時(監督アフタートーク)

④ 18時

場所:かわさきゆめホール

前売予約:1,000円

当日:1,500円

障がい者・学生以下:500円

お申し込み:044-433-3003 ゆめホール

[cinema@kawasakiyume.com](mailto:cinema@kawasakiyume.com)

主催:ゆめホールシネマ倶楽部

[詳しくはこちら](#)

#### ⑥子ども未来集会プレ企画・映画「ゆめパの時間」

11/4(月祝)

① 10時

② 12時半

③ 15時

④ 17時半

会場:かわさきゆめホール

前売券:一般 800円／障がい者 400円／学生・子ども 200円

当日券:一般 1,000円／障がい者 500円／学生・子ども 300円

お申込:044-433-3003 ゆめホール／[kodomomiraisyukai@yahoo.co.jp](mailto:kodomomiraisyukai@yahoo.co.jp)

問合せ:事務局・船津了 Tel・Fax:044-434-4290

主催:子どもの未来をひらく川崎集会実行委員会

協力:ゆめホールシネマ倶楽部

後援:川崎市／川崎市教育委員会

## [公式サイト](#)

[詳しくはこちら](#)

### ⑦京浜協同劇団公演「黒と白のピエタ」

11/29(金)より12/8(日)まで

会場:スペース京浜

前売り券:一般3,500円、障がい者・学生2,000円

当日券:各500円増

## [公式サイト](#)

### ★編集後記

9月23日の「等々力再整備を考える学習会」(本号第2記事)に参加しました。

講師の尾山弁護士のお話のスケールの大きさと、深さに感銘を受けました。

実は、この集会の資料作り担当だったので、事前に尾山さんから、当日資料を送っていただきました。ファイルを開けてみて、ビックリ…！ A4サイズで20ページ近いボリュームの資料でした。

中身は、自治体民営化のそもそもから始まり、広範囲な分野(保育、学童、介護、図書館、市民館、学校施設、他)のPFIや指定管理の実態、そして、世界の民営化見直しの動き、民営化を乗り越える再公営化の方法までが記載されていました。

目を通して、心配になりました。等々力の緑を守りたいの一点で集まる参加者の要求と合うだろうか？

しかし、尾山氏の1時間ちょうどの講演を聞き終えて、この心配は杞憂に終わりました。

参加者からも、「カルチャーショック、次世代にも繋がる大問題」「地方自治の危機ですね」「公共空間を儲けのために差し出している、これに乗っかる自治体も問題ですが、国の方向性がそもそもの問題」などの感想がよせられました。

等々力の樹木が大量に切られる理由が、とどろきパーク株式会社にあるというより、PFIの本質からきていること、そして、公共の分野に次々と持ち込まれているPFIや指定管理などとの共通点を知ることが、等々力再整備を止める大きな力になることが、よくわかりました。

福田市政の11年で、市政の多くの分野で、公共から民間への流れが一気に強まりました。

今、川崎民主市政を作る会は、全市域、全分野で進む民営化の実態を告発する黒書作りをすすめています。

尾山さんの広くて深い問題提起しっかりと学び、活かしていきたいと思います。(H)

☆☆チェンジかわさき！☆☆

川崎民主市政をつくる会

〒211-0011 中原区下沼部 1880

お問い合わせ

[mailmag@newkawasaki.jp](mailto:mailmag@newkawasaki.jp)

公式ホームページ

<https://newkawasaki.jp>

☆☆チェンジかわさき！☆☆

配信を希望されない方は以下をクリックしてください。

自動的に登録を解除します。

[https://my922p.com/User/cancel\\_mail/fMwwpqj4/yfV39fpFees0?mail=talosxxx%40gmail.com](https://my922p.com/User/cancel_mail/fMwwpqj4/yfV39fpFees0?mail=talosxxx%40gmail.com)

誤って登録解除した場合、以下より再度登録をお願いします。

[mailmag@newkawasaki.jp](mailto:mailmag@newkawasaki.jp)